

先生方に（出来れば保護者にも）お薦めしたい本

文責： （スクールカウンセラー）

『叱らない』が子どもを苦しめる」

藪下遊/高坂康雅 ちくまプリマー新書

【著者について】

藪下遊：東亜大学大学院准教授等を経て、現在は福井県、石川県 SC 等。

高坂康雅：和光大学現代人間学部教授。

【内容、要点を少しだけ紹介】

○「不登校は無理させず休ませる」という方法が有効だったのは過去の話になってしまった。

昔は「学校には行かなければならない」という価値観を親子とももっていた。

だから休んで元気が出てくれば、自分から学校へ「行かなければ」となった。

しかし現在、「嫌なら学校は休んでよい」という価値観を親子とも内面化している。

だから休ませても「行かなくていいや」のままになる。

○親が子どもに、思い通りにならない経験（叱る、制限を設ける）をさせることが大切。

その中で子どもは、思い通りにならない状況への耐性や対応スキル等を身につけていく。

流行りの「叱らない、褒めて伸ばす子育て」だけではそれらが身につかない。

⇒思い通りにならない状況に耐えられない、逃げる、学校も行かない、となる。

○その他、親子のかかわり方のポイントや、難しいケースへの対応など、保護者にも教職員にも参考になる内容が沢山。

2024 年 2 月発行。8 月時点で第 5 刷が発行。

子育て世代、教育関係者の間でひっそりと話題になっている 1 冊です。